

佐藤寿三郎の議員活動詳報 ことぶき月報 (No.234) 2018年3月号

終世書生気質：ブログ・千曲のかなた (日々の議員活動をお伝えしています)

【須坂市議会 3月定例会】

須坂市議会 3月定例会は、2月20日招集され25日間の会期をこなして、3月16日、事件決議1件、条例18件、補正予算8件、当初予算8件(平成30年度須坂市一般会計予算のうち、後記にお示しするとおり、須坂温泉福祉避難所施設整備設計業務負担金を削減する修正案を可決したため、この部分を除く原案を可決。)をすべて可決。人事案件2件を同意して、全ての議案を了したので閉会しました。

1. 今3月定例会に提出された議案のうち、注目すべき議案について

1) 条例案から。

□ 須坂市組織条例の一部を改正する条例について

☆改正目的：市の組織の部の再編を行うため。

◇私論：部の名称変更、エコパーク課の廃止に異議あり！

現行とおりの部制で市民に支障がないのではないか。

○総務文教委員会審査において、小職は、エコパーク推進課の使命は、仁礼地区で最終処分場が稼働する限り必要であると考え、条例修正案に反対しました。委員会審査では本条例を否決しました。

◇3月16日の本会議において、本条例は原案とおりに可決されました。

□ 須坂市介護保険条例の保険料率を改正する条例について。

☆改正目的：基準の改正に伴う所要の整備のため。

◇私論：介護保険制度は肯定するが、介護保険料は年々上昇し、しかも年金から天引きされる。低年金の受給者にとって大きな負担になりつつある。H30年～32年の保険料をみると、1,540円～12,560円の値上げとなる。終身納税制度は高齢者に負荷となるので条例改正に反対。

◇3月16日の本会議において、本条例は原案とおりに可決されました。

2) 当初予算案から

須坂温泉福祉避難所施設整備設計業務負担金について

平成30年度須坂市一般会計当初予算採決に先立ち、「須坂温泉福祉避難所施設整備設計業務負担金について」(以下、負担金)は、当初予算を歳入・歳出とも203億8千万円を203億6830万円とし、市債のうち負担金1,170万円を減額する修正案が提出されました。採決の結果、修正案は可決され、負担金1,170万円は削減されました。

【修正理由 イの要旨】

須坂温泉古城荘を福祉避難所と整備するに、国の福祉避難所ガイド

ラインのとおり、最初に指定避難所を福祉避難所として活用するために必要な整備を行い、次に地域における福祉避難所を小学校区に1か所程度の割合で指定することを優先すべきである。

【修正理由イに対する反論】

○修正案提出者等は、国の福祉避難所ガイドラインの通り、最初に指定避難所として活用するために必要な整備を行うという件(くだり)について、須坂市は言わば指定避難所に緊急時に何時でも代替出来ることも思料して、4校の中学校、11の小学校、全ての市立保育園、さらにすべての地域公民館の耐震整備を終えています。須坂市に万一の大災害が生じた場合には、いずれも災害被害を免れて施設が正常であれば、市民のために機能してくれる公共施設であります。

この度、須坂温泉古城荘の指定避難所(福祉避難所)の指定に向けた耐震診断、耐震補強および改修工事に関しては、前述した公共施設の他に指定避難所を増やすと思えば理解できます。但し、指定避難所と違う点は、福祉避難所は「一般の避難所では避難生活が困難な高齢者、障がい者、妊婦、乳幼児などに対して、安心して生活が出来体制を整備、特化した」施設であることを理解しなくてはなりません。

万が一の災害時下における社会的弱者を気遣う心を須坂人は忘れてはならない。

【修正理由ロの要旨】

市は有利な起債と称し緊急防災・減災事業債を活用しようとしているが、この事業債は地方交付税の基準財政需要額に算入されるが、全額地方交付税として交付されるとは言い難い。多額の市債投入が懸念される。市費をかけずに上記の福祉避難所を指定すべきだ。

【修正理由ロに対する反論】

これはあくまでも修正申立人の主張であって、主張の一部に事実の誤認があるのでは。

普通交付税は、基準財政需要額から基準財政収入額を差し引いた額が交付されるため、「起債の元利償還分が交付額にどのくらい参入されている」と言う考えは合いません。

しかし、交付税措置される起債の元利償還分は、きちんと基準財政需要額に算入されるものであり、また、須坂市の場合は、基準財政需要額が少ないため、緊急防災・減災事業債の元利償還分として基準財政需要額が増えた分は、そのまま普通交付税も増えることとなります。そして、起債の元利償還金にかかる基準財政需要額は、該当する起債を活用した団体のみ参入されるものです。

況や、今回活用される緊急防災・減災事業債は平成32年度で終了とされることから、この「有利な起債」を活用して、福祉避難所の整備を進めるべきと考えます。安全を確保するには、それ相応の

費用を掛けなければ、安全は買えないし、保てないことを認識すべきです。

【修正理由 ハ の要旨】

須坂温泉は一部土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）に含まれる場所もあるので、福祉避難所としてクリアすべき課題も多いので考え直すべきである。

【修正理由 ロ に対する反論】

須坂温泉古城荘の地形について、レッドゾーンに含まれる体育館云々されますが、これは避難所の選択の多肢の問題であると捉えるべきと考えます。

◎佐藤壽三郎議員は修正案に反対しました。その理由は以下のとおりです。

「天災は忘れた頃にやって来る。」これは物理学者であった寺田寅彦の名言ですが、最近では地震発生のメカニズムも解明されております。気象庁は「南海トラフ周辺の地殻で「ひずみ」が溜まっているのを観測。いつ南海トラフ地震が発生してもおかしくない。」と発表しているではありませんか。

巨大地震は明らかに発生すると思ひ、これに備えねばなりません。

今回活用される緊急防災・減災事業債は、平成 32 年度で終了とされることを思料すれば、この「有利な起債」を活用して、須坂市に福祉避難所の整備を進めるべき当初予算は、選択肢として賢策であると私は判断します。

気の利いた理由付の反対も結構ですが、ある日突然この須坂が罹災したときに「しまった！」では済まされません。殊更に「医療スタッフの確保が先だ」と強調する修正案賛成意見についても、毎年行なわれる防災訓練に 20 年に亘り参加している私にとっては、行政と医療機関との連携は良好に確立されていると思料します。であれば付帯意見として明記し、行政当局に促せば足りる代物と思えました。

震災・天災の発生の蓋然性を重視し「須坂市民を万一の災害から守る」施策を形として推し進めることこそ、5 万 1 千市民の生命と子々孫々のために安心・安全を担保する施設等を構築するのが、議員の為す務めではありませんか。

私は、「原案とおり予算を可決すべき」と主張しましたが、3 月 16 日の本会議で修正案は可決され、須坂温泉福祉避難所施設整備負担金は削減されました。

原案に対してこれと言った明確な代替案も示さず、数の力で原案を否決する手法は、一時の烏合の態に外なりません。市長や議員の役目は、万一の予測できない災害が発生しても、郷土須坂市民の命を臆せず守り抜く平生の気構えに尽きると思ひます。

3 今議会の予算決算特別委員会分科会で出された質疑・答弁の手控え

1) 総務文教委員会

開議日時 平成 30 年 3 月 5、6 日・開議場所 議会第 4 委員会室

Q：地域おこし協力隊の現在の配置状況は。

A：平成 29 年度活動していただいた協力隊員は、農林課、生涯学習スポーツ課、豊丘地域公民館、須坂市観光協会、峰の原観光協会の各 1 人の配置。

Q：財政調整基金積立金について。

A：平成 28 年度決算の実質収支額は 5 億円を超えており、その 2 分の 1 を積立てるようになる。

Q：児童クラブの臨時職員が集まらない理由は。

A：勤務時間が 3 時から 6 時までの募集であり、時間数が少ないこと。小さなお子さんがおられる方は、3 時から 6 時という勤務時間は厳しい。

2) 経済建設委員会

開議日時 平成 30 年 3 月 9 日・開議場所 議会第 4 委員会室

Q：冠水被害改植等苗木補助金についての詳細。

A：千曲川の冠水に際して被害を受けやすい奥手のリンゴを早生種へ転換する目的の補助金で、5 名の申請があり 50 アール程の改植があった。

Q：湯っ蔵んどの修繕料の 1 千万円の減額について。

A：経年劣化に伴うポンプ等機器に不具合があった場合の修繕費 3 千万を計上していたが、修繕の実績及び今後の見込みにより減額した。

3) 福祉環境委員会

開議日時 平成 30 年月 7、8 日・開議場所 議会第 4 委員会室

Q：自殺対策強化事業について。

A：市としては、健康福祉部長を長として、健康づくり課が事務局となり、本年度「自殺予防対策計画」を見直しました。関係各課との連絡会議を通じて情報の共有、今後の取組などを検討している。

Q：北部体育館の音響設備について。

A：体育館は音楽ホールでないため、そこまでしなくて良いと判断した。

4 議会運営委員会

開議日時 平成 30 年 2 月 13 日

開議場所 議会第 3 委員会室

協議事項 3 月定例会の議案等外

開議日時 平成 30 年 2 月 20 日

開議場所 議会第 3 委員会室

協議事項 3 月定例会追加議案等外

開議日時 平成 30 年 3 月 16 日

開議場所 議会第 3 委員会室

協議事項 最終日の議事日程及び議案の取扱い外 5 件

開議日時 平成 30 年 3 月 16 日

開議場所 議会第 3 委員会室

協議事項 須坂市議会委員会条例の一部を改正する条例について外。

開議日時 平成 30 年 3 月 21 日
開議場所 議会第 3 委員会室
協議事項 第 1 回臨時会の議案外 3 件

5 会派代表者会議

開議日時 平成 30 年 2 月 27 日
開議場所 議長応接室
協議事項 人事案件について
候補：教育長 小林雅彦 氏
候補：固定資産評価審査委員 坂田賢一 氏

開議日時 平成 30 年 3 月 21 日
開議場所 議会第 4 委員会室
協議事項 議事日程と議案の取扱いについて

6 全員協議会

開議日時 平成 30 年 2 月 20 日
開議場所 議会第 4 委員会室
協議事項 3 月定例会について外 6 件

開議日時 平成 30 年 3 月 2 日
開議場所 議会第 4 委員会室
協議事項 教育長候補者 小林雅彦氏の所信表明

開議日時 平成 30 年 3 月 16 日
開議場所 議会第 4 委員会室
協議事項 追加議案等外 5 件

開議日時 平成 30 年 3 月 16 日
開議場所 議会第 4 委員会室
協議事項 須坂市議会委員会条例の一部を改正する条例について外。

開議日時 平成 30 年 3 月 21 日
開議場所 議会第 4 委員会室
協議事項 第 1 回臨時会の議案外 3 件

7 予算決算特別委員会

開議日時 平成 30 年 2 月 13 日
開議場所 議会第 4 委員会室
協議事項 平成 30 年度当初予算の説明

開議日時 平成 30 年 2 月 20 日
開議場所 議会第 4 委員会室

協議事項 各分科会への議案委任外

開議日時 平成 30 年 3 月 14 日

開議場所 議会第 4 委員会室

審査採決 各分科会報告、報告に対する質疑、議案に対する意見、討議、討論、採決

開議日時 平成 30 年 3 月 23 日

開議場所 議会第 4 委員会室

研修会 予算等に係る研修

8 インター周辺等開発特別委員会

開議日時 平成 30 年 3 月 23 日

開議場所 議会第 4 委員会室

協議事項 ①事業の進捗状況について
②中心市街地における考察等について
講師：牧 重信 氏

9 平成 30 年第 1 回須坂市議会臨時会

平成 30 年第 1 回須坂市議会臨時会は、3 月 21 日招集され、「平成 29 年度須坂市一般会計補正予算第 8 号」を上程、議長より予算決算特別委員会に付託され、同特別委員会は、現地視察を行った後に審査に入り、所管課より詳細な説明を受けた後、質疑応答を経て、討論の後、採決に入り、賛成起立 10 人、不起立（看做反対）6 人で、原案とおりの可決されました。

○一般会計（補正予算第 8 号）

上程された「平成 29 年度須坂市一般会計補正予算第 8 号」は、歳入歳出それぞれ 6,912 万円を追加する。

◎観光施設整備事業の内容

健康長寿食の高付加価値化及び農産物の加工商品等のテストマーケティングを行い、生産性向上を図るために、地方創生拠点整備交付金等を活用し、研究開発拠点と農家チャレンジショップの整備費用として須坂温泉(株)への負担を計上。負担金 6,912 万円。

④財源は地方創生拠点整備交付金（1/2）、補正予算債（充当率 100%、交付税措置率 50%）

◎佐藤壽三郎議員は 原案に賛成しました。その理由は以下のとおりです。

観光施設整備事業の内容から、如何に須坂温泉に誘客すべきかの苦心が窺える。温泉施設が他県より多い長野県の事情を斟酌するとき、如何に他温泉施設より抜き出るか、集客力を備えるかが営業・施設の存続につながるかにかかると思料します。その意味合いからしても、須坂温泉を観光施設と位置付けて、様々な研究開発拠点と農家チャレンジショップの途を拓き、相乗効果として誘客の増大が図れば、これに越したことはないかと期待して原案を支持しました。

10 小学校・中学校・教育委員会関係】

- ① 平成 30 年 3 月 15 日、須坂市立墨坂中学校（校長：三溝清洋）は第 60 回卒業証書授与式を挙りました。本年度の卒業生 166 名（男子 82 名、女子 84 名）は、各々壇上に登り、校長先生より卒業証書を手渡されました。三溝校長先生は、卒業生にマザーテレサの名言を引用されて・・・
「思考に気をつけなさい、それはいつか言葉になるから。言葉に気をつけなさい、それはいつか行動になるから。行動に気をつけなさい、それはいつか習慣になるから。習慣に気をつけなさい、それはいつか性格になるから。性格に気をつけなさい、それはいつか運命になるから。」を臚に陳べられました。
- ② 平成 30 年 3 月 17 日、須坂市立森上小学校（校長：天野義孝）は平成 29 年度卒業証書授与式を挙りました。本年度の卒業生 52 名（男子 30 名、女子 22 名）は、各々壇上に登り、校長先生より卒業証書を手渡されました。天野校長先生は、卒業生に森上小学校の組名でもある・・・
「智とは:賢く正しく直（尚）機心であること。仁とは:思いやりと感謝の心であること。勇とは:勇気をもって生きること。卒業生の皆さんに校長先生はこの三つの宿題を出します。友という絆を大切に生きて欲しい。」と臚の言葉として智・仁・勇を諭されました。

11 会派・無所属クラブの活動

- 開議日時 平成 30 年 2 月 13 日
開議場所 会派室
協議事項 3 月議会議案の事前研修会日程の取り決め
- 開議日時 平成 30 年 3 月 9 日
開議場所 議会第 1 委員会室
協議事項 議案の事前調査学習会
- 開議日時 平成 30 年 3 月 11 日
開議場所 議会第 1 委員会室
協議事項 所属委員会の審査報告と質疑・意見等の検討会
- 開議日時 平成 30 年 3 月 14 日
開議場所 議会第 1 委員会室、
協議事項 予算決算特別委員会の審査結果の報告と検討会
- 開議日時 平成 30 年 3 月 19 日
開議場所 議会第 4 委員会室、会派室
協議事項 第 1 回臨時会上程議案の事前学習会

12 平成 29 年度 会派 無所属クラブと日本共産党合同行政視察報告

- (1) 期 日 平成 30 年 3 月 26 日（月）～27 日（火）
(2) 参加人 無所属クラブ 代表 佐藤壽三郎 北澤 雄一
日本共産党 代表 久保田克彦 竹内 勉
(3) 視察目的
1) 浜松商工会議所 平成 30 年 3 月 26 日（月）訪所

① 研修内容

- イ. 大型店影響調査について
- ロ. 大型店の進出が売り上げ減少の最大要因となった。
- ハ. 大型店進出で最も脅威と感じる業態。
- ニ. 大型店対策について。
- ホ. これからの中小小売店の姿について。
- ヘ. 総括、質疑&応答

② 説明人

浜松商工会議所 理事 柰屋 英雄 氏
浜松商工会議所 商業観光課長 伊藤 規晃 氏

③ 視察評価

「大型店出店に伴う地元小売店への影響調査報告会」に先立って、浜松市地域における商業の現状と課題を分析・把握し、今後の経営支援事業を進めるうえでの有効な資料と知るために、アンケート調査を実施され、これを取りまとめた資料と更に作成された調査概略書に基づき詳細な説明を賜った。

大型商業施設は、ここ浜松市では優に 10 店舗でうりば面積は 281,875 m²もある。小売店の売上減の要因は、①大型店の進出。②景気の低迷、③少子高齢化。④商店街の集客力の低下が読み取れる。

商工会議所に寄せる期待については、中心市街地と郊外の小売店では期待の内容に違いがあることも窺える。

◇中心市街地の店舗では、商店街イベントに対する支援。行政への意見要望活動強化

○郊外の店舗では、売上増セミナー。専門家による店舗診断。

◇・○の共通の期待として、事業資金斡旋、流行に関する情報提供・セミナーの実施。インターネット販売支援等であった。

◎商工会議所の使命が、今大きく問われている。会員は商工会議所のリードに大きく期待し、更に商工会議所を通しての行政の支援を仰ぎたい実態も今回の視察で窺えた。

2) 岡山商工会議所 平成 30 年 3 月 26 日 (月) 訪所

① 研修内容

- イ. 市街地「商店街現況調査」の実施分析について
- ロ. 「魅力ある店づくり支援プロジェクト」の実施について。
- ハ. 「商店街等中心市街地商業活性化研究会」の設立について。
- ニ. 「表町商店街空き店舗実態調査」実施結果について外。
- ホ. 総括、質疑&応答

② 説明人

岡山商工会議所 理事 須々木俊彦 氏
岡山商工会議所 総務次長 小山 恵子 氏

③ 視察評価

管内の市街地の会員に対して「商店街現況調査」を例年 1 回実施され

ている。

「魅力ある店づくり支援プロジェクト」は、イオンモール出店等で岡山市街地の商業環境が大きく変わることを想定して、中。小売、サービス店舗の魅力を向上させる目的で設置されたものであるが、専門家の派遣やセミナーの開催等を個店支援として実施している。

「商店街等中心市街地商業活性化研究会」を設立し、①商店街等の「現状・課題」の抽出。②空き店舗対策等 ③各商店街との懇談会 ④商店街活性化への提言等を実施。

「表町商店街の活性化への提言、店舗実態調査を実施し、表町商店街活性化プロジェクト推進協議会を設立して、「魅力的な商店街として活性化するための具体的な対策や整備等の具現化を図るとのこと。

◎商工会議所会員の原拠調査によって、会員の抱える商売上の不安や模索が浮き彫りにされるようだが、共通なのは個々の商店の専門性を高めることなのか、商店街とした連携の活動によって如何に商店街に誘客する手立てを思考するかである 2 建ての方法があるように思えた。

やる気のある商店は、アイデアを絞り智恵を生み出す。商才のない商人は他人の模倣を繰り返して少しも勘考をしない。怠け者は挙句の果て業界から淘汰される。生き残りは真剣勝負であることは今も昔も変わりはないと感じる。

3) 松本市博物館 平成 30 年 3 月 27 日 (火) 訪所

① 研修内容

イ. 松本市博物館の概要について

- i. 職員数について。
- ii. 経常事務について。
- iii. 懸案、主な事務について。
- iv. 事業実績について。H28 年度観覧者 745,186 人 前年度比 1.5%

ロ. 博物館事業の推進について

- i. 概要について。
- ii. 沿革について。
- iii. 松本市基幹博物館整備事業について。
- iv. 松本市基幹博物館基本構想の内容について。
- v. 松本市基幹博物館施設構想・建設計画について外。

ハ. 総括、質疑&応答

② 説明人

松本市博物館 館長 木下 守 氏

松本市博物館 庶務係長 土屋まつえ 氏

松本市博物館 事業担当課長 関沢 聡 氏

進行方

松本市議会事務局職員

③ 視察評価

博物館の果たす使命は、抽象的と具体的なものが折り重なって評価されるものであるが、歴史的遺産や文化・芸術・政治・経済等将によろず

の範疇から、ある種の基準や篩（ふるい）に掛けられた時代を越えた評価が今に受け継がれているものであり、更に後世に伝え継がれるものの中継ぎの作用を担っていると感じる。

本来は、博物館運営は財政的評価として馴染まない代物であり、この使命に対する市民の包容力と理解が、求められる事業ではなかろうか。須坂市も博物館の改修事業に臨んで様々な論議が示されている。我々2会派は、昨年12月に飯山市、中野市の博物館施設を訪問し、博物館の果たす使命を学び、この度は松本市に学ぶ機会を得たて、何れの博物館で研修するたびに、愚直に矜持を持たれて地域に伝わる文化を次世代に手渡ししようとする意気込みを感じた。

博物館の背負って立つ事業の評価は後世に任せようではないか。

13 3月定例会において議会に提出された資料一覧

番号	文 書 名	提出課	月日	委員会
45	須坂市の財務書類	財政課	3/14	全員協議会
44	長野オリジナル新品種（果樹）の概要	農林	3/12	経済建設
43	須坂市都市公園条例の一部改正について	まちづくり	3/12	経済建設
42	設備投資に係る新たな固定資産税特例について	産業連携開発	3/12	経済建設
41	須坂市水道ビジョン（案）概要版	水道局	3/12	経済建設
40	下水道工事箇所位置図	水道局	3/12	経済建設
39	須坂温泉古城荘 福祉避難所の整備について	商業観光	3/9	経済建設
38	須坂フルーツ発泡酒を核とした果樹振興と賑わい創出	産業連携開発	3/9	経済建設
37	須坂温泉古城荘 福祉避難所の整備について	商業観光	3/9	経済建設
36	地域おこし協力隊による空き店舗活用を通じた地方	商業観光	3/9	経済建設
35-2	第2期保険事業実施計画（データヘルス計画）	須坂市	3/11	福祉環境
35	須坂市高齢者施策推進協議会条例の制定について	高齢者福祉	3/8	福祉環境
34	須坂 J A P A N 事業の内訳について	健康づくり	3/8	福祉環境
33	予防・健康管理（データヘルス）に視点で見た課題	健康づくり	3/8	福祉環境
32	須坂市高齢者いきいきプラン 概要版	高齢者福祉	3/8	福祉環境
31	第7期須坂市介護保険料（案）	高齢者福祉	3/8	福祉環境
30	須坂市指定区域密着型サービスの事業 26 文書差替え	高齢者福祉	3/8	福祉環境
29	臨時福祉給付金等至急状況（須坂市）	福祉	3/8	福祉環境
28	須坂市の生活保護受給者数・保護率の推移	福祉	3/8	福祉環境
27	県宝・重文の指定基準について	生涯学習スポ	3/8	福祉環境
26	須坂市指定区域密着型サービスの事業の人員、設備	高齢者福祉	3/8	福祉環境
25	長野電鉄 長野線のダイヤ改正について	市民	3/8	福祉環境
24	可燃ごみA焼却施設移行スケジュールについて	生活環境	3/8	福祉環境
23	後期高齢者医療制度の保険料軽減の改正について	健康づくり	3/8	福祉環境
22	平成30年度以降の国民健康保険特別会計予算の概要	健康づくり	3/7	福祉環境
21	可燃ごみ指定袋（小）の証紙（手数料）代金印刷誤	生活環境	3/7	福祉環境
20	一般廃棄物最終処分場建設に向けた取組	エコパーク推進	3/7	福祉環境
19-3	非常勤消防団員等に係る損害賠償の基準改正内容	消防本部	3/6	総務文教
19-2	須坂市手数料徴収条例の一部を改正する 資料	消防本部	3/6	総務文教
19	公益通報者保護制度について	総務	3/6	総務文教

18	榑守谷商会水道事業の須坂市への移管について	政策推進	3/6	総務文教
17	平成30年度国民健康保険税に係る税改正について	税務課	3/6	総務文教
16	須坂市国民健康保険税条例の一部改条例資料	税務課外	3/6	総務文教
15	固定資産税軽減措置の概要	税務課	3/6	総務文教
14	学校給食センター建設における経過等について	学校教育	3/6	総務文教
13	公正取引の確保に関する法律に基づく措置命令等に	消防本部	3/9	総務文教
12	債務負担行為：須坂温泉福祉避難所整備負担金	商業観光	3/2	予決特委
11	公共施設等整備基金繰入	財政課	3/2	予決特委
10	通知書鑑	予決特委	3/2	予決特委
9	設備投資に係るあ新たな固定資産税特例について	税務課	2/22	総務文教
8	須坂市清掃センターの概要	清掃センター	2/22	福祉環境
7	市立須坂図書館管内レイアウト改修工事	生涯学習スポ	2/22	福祉環境
6	坂田霊園擁壁修繕工事の工法変更について	生活環境	2/22	福祉環境
5	須坂市立博物館の長期休館について	生涯学習スポ	2/22	福祉環境
4	交通安全教育センター信号機当撤去工事	市民課	2/22	福祉環境
3	インター須坂流通産業団地調整池排水ポンプ更新工事	産業連携	2/22	経済建設
2	地方創生拠点整備交付金による須坂温泉古城荘整備	商業観光	2/22	経済建設
1-2	代表質問に関する申合せ	議会事務局	2/12	議運委員会
1	須坂温泉古城荘の指定避難所の指定に向けた改修工事	商業観光	2/8	経済建設

12【 2018年3月期で私が注目したニュースの見出し備忘録 】

ニュースの概要	出典機関	月日	市担当課
政治編			
県消防防災ヘリ、訓練を再開 民間パイロット「2人制」	信濃毎日	3/7	消防本部
不正開票で第三者委設置＝カメラ設置など改善策も一滋賀県 甲賀市選管	時事通信	3/7	市選管局
子ども貧困対策で合意書＝京都府・ローソン	時事通信	3/8	福祉課
日本政府、置き去り懸念＝電撃発表「寝耳に水」－米朝首脳会談	時事通信	3/9	総務課
森友文書、答弁に合わせ改ざん＝首相陳謝、麻生氏統投の意向－昭恵氏発言を削除	時事通信	3/12	総務課
書き換え「深刻な事態」＝刑事事件の可能性も－専門家ら、森友文書問題	時事通信	3/12	総務課
議場入場制限を明文化＝乳児連れ騒動受け－熊本市議会	時事通信	3/12	議会事務局
民泊関連の苦情115件＝昨年4～12月に－小川福岡知事	時事通信	3/12	産業連携課
書き換えは値引き表面化後＝首相夫人の記載削除－14の森 友文書報告、政権苦境に	時事通信	3/13	総務課
遺産分割で配偶者優遇＝政府、民法改正案を決定	時事通信	3/13	総務課
県議会、18年度当初予算を可決	信濃毎日	3/15	総務課
新事実次々、政府説明に疑義＝文書保管、官邸への報告－改ざん問題	時事通信	3/17	総務課
文書改ざん問題の経緯	時事通信	3/17	総務課
長野市人事＝総務部長に倉石義人氏	時事通信	3/22	総務課

緊急地震速報「続報」運用を開始	NHK長野	3/22	総務課
長和町議会 消防団の定年廃止を可決	信濃毎日	3/23	消防本部
浅間山新たなハザードマップ公表	NHK長野	3/23	総務課
駒ヶ根市不正受給で職員減給処分	NHK長野	3/23	総務課
知事 5か年計画具体化へ連携	NHK長野	3/23	政策推進課
4市町に火砕流 浅間山大噴火想定ハザードマップ	信濃毎日	3/24	総務課
長野市、危険な空き家に略式代執行へ	信濃毎日	3/27	まちづくり課
県内住宅地47地点上昇 18年公示地価	信濃毎日	3/28	まちづくり課
(長野県) 全域にノロウイルス食中毒注意報	信濃毎日	3/28	健康づくり課
高校再編 計8カ所で「再編前提」 県教委が実施方針案	信濃毎日	3/30	学校教育課
後期高齢者医療、2割負担提案＝自民財政再建小委	時事通信	3/29	健康づくり課
国保料、市町村の5割で下げ＝18年度から財政支援増で―厚労省	時事通信	3/30	健康づくり課
効果は不透明＝国保改革	時事通信	3/30	健康づくり課
将来の都道府県別総人口	時事通信	3/30	政策推進課
生活保護世帯が最多更新＝16年度、高齢者受給増で―厚労省	時事通信	3/30	福祉課
後期高齢者保険料、1.2%増＝18～19年度見込み額―厚労省	時事通信	3/30	健康づくり課
政務活動費問題の市議辞職＝堺市議会	時事通信	3/30	議会事務局
変わる医療・介護の値段＝初診料負担増も＝	時事通信	3/31	高齢者福祉課
経済編			
ガソリン価格 7週ぶり値下がり	NHK長野	3/1	産業連携課
物価2%実現できる＝大規模緩和継続で「総仕上げ」―黒田日銀総裁、衆院で所信	時事通信	3/2	政策推進課
有効求人倍率1.70倍の高水準	NHK長野	3/1	産業連携課
TPPとEPAの県内への影響額	NHK長野	3/5	産業連携課
景気 6か月連続で緩やかに拡大	NHK長野	3/6	産業連携課
ガソリン価格 2週連続値下がり	NHK長野	3/8	産業連携課
2月の倒産、10%減＝28年ぶり低水準―商工リサーチ	時事通信	3/8	産業連携課
実質GDP、年1.6%増に＝10～12月期、改定値で上方修正	時事通信	3/8	産業連携課
街角景気、3カ月連続悪化＝2月、大雪など影響―内閣府	時事通信	3/8	産業連携課
1月の実質賃金0.9%減＝野菜の値上がり響く―厚労省	時事通信	3/9	産業連携課
1月消費支出、1.9%増＝家計調査	時事通信	3/9	産業連携課
ガソリン価格 3週連続値下がり	NHK長野	3/15	産業連携課
ガソリン価格 4週連続値下がり	NHK長野	3/23	産業連携課
ガソリン5週連続値下がり	NHK長野	3/30	産業連携課
県内の有効求人倍率は1.65倍	NHK長野	3/30	産業連携課
鉱工業生産、4.1%上昇＝2カ月ぶり、自動車好調―2月	時事通信	3/30	産業連携課
社会編			

住宅全焼2人の遺体80代夫婦か(須坂市)	NHK長野	3/1	消防本部
移住したい県 2年ぶり長野1位	NHK長野	3/1	政策推進課
県防災ヘリ墜落1年 高度やエンジン出力の数値のメモ見つかる	信濃毎日	3/4	消防本部
県防災ヘリ 墜落30秒前「異常な低高度」	信濃毎日	3/7	消防本部
今も7700人が仮設住宅＝震災7年、都内で会見一達増岩手知事	時事通信	3/12	総務課
県警には相談366件 昨年のストーカー被害	信濃毎日	3/15	市民
森友文書改ざん「政治的な力」 前文科事務次官・前川さん、須坂で講演	信濃毎日	3/14	総務課
(長野県) 去年の救急車出動 過去最多に	NHK長野	3/17	消防本部
長野市で「子ども議会」開催	NHK長野	3/22	総務課
妙高戸隠連山国立公園ロングトレイル 「T字ルート」推進	信濃毎日	3/23	商業観光課
長野少年鑑別所の「地域援助」、増える相談	信濃毎日	3/30	総務課
各紙社説等			
憲法の岐路 教育の目的 「国の未来」論の危うさ	信濃毎日	3/7	学校教育課
憲法の岐路 緊急事態条項 強引すぎる自民の論議	信濃毎日	3/9	政策推進課
森友文書問題 国民に対する背信行為	信濃毎日	3/13	総務課
憲法の岐路 自民の議論 政治不信直視するなら	信濃毎日	3/15	総務課
【潮流底流】支持率急落、政権に衝撃＝憲法改正・総裁選に暗雲	時事通信	3/16	総務課
前川氏の授業 国が干渉することか	信濃毎日	3/19	総務課
ふるさと納税 不毛な競争に終止符を	信濃毎日	3/22	総務課
森友学園問題 全体像を明らかにせよ	信濃毎日	3/22	総務課
官房機密費 国民の目を届けよう	信濃毎日	3/23	総務課
英語民間試験 入試への導入は疑問だ	信濃毎日	3/28	学校教育課
議員活動資料			
地方議会維持へ新制度＝少数専門型と兼業中心多数型一現行含め3択可能に	時事通信	3/6	自習研究
議会報告会による住民ニーズの把握	時事通信	3/8	自習研究
◇秘めたブランド力で人口増やす＝佐藤嘉大・北海道総合政策部長	時事通信	3/13	産業連携課
書き換え「深刻な事態」＝刑事事件の可能性も一専門家ら、森友文書問題	時事通信	3/12	自習研究
安保法成立後の主な動き	時事通信	3/29	自習研究
用語解説			
TPP11	時事通信	3/8	自習研究

※茶色文字は私が注目した記事を示します。

【北信濃鏡】

- 3/1 一般質問(2日目) 塩崎議員、水越議員、堀内議員、荒井議員、西澤議員、市民病院、湯っ蔵んど
 /2 一般質問(最終日) 石合議員、久保田議員、霜田議員、佐藤寿三郎議員、全員協

- 議会（教育長候補者の所信表明）、支援者宅訪問、湯っ蔵んど
- /3 自主的議員学習会（議会第1委員会室）、
 - /4 会報編集、会報配信、メルマガ配信、議会報原稿作成
 - /5 予算決算特別委員会・総務文教分科会
 - /6 予算決算特別委員会・総務文教分科会、総務文教委員会、懇親会
 - /7 宅地建物取引士法定講習 於:バスターミナル
 - /8 （福祉環境委員会）市理事者と協議、議員間意見調整、市民相談
 - /9 （予算決算特別委員会・経済建設委員会）市理事者と協議、議員間意見調整、市民相談
 - /10 HP検証。特定行政書士PR、議員間意見調整
 - /11 2会派+1学習会：委員会審査報告と意見調整。市理事者の補足説明。
 - /12 （経済建設委員会）市民相談、堀内議員来所
 - /13 肺炎球菌予防ワクチン接種、議会登庁、須坂商工会議所総会に出席。前川前事務次官の講演を受講：シルキー
 - /14 市民病院、予算決算特別委員会、2会派+1学習会：意見調整
 - /15 墨坂中学校卒業式、市理事者に資料の確認を求める。議員間意見調整。議会資料まとめ、千曲のかなた更新。
 - /16 三月定例会閉会日。議会運営委員会、全員協議会、本会議、議会運営委員会、全員協議会、本会議、議会閉会。
 - /17 森上小学校卒業式、市民相談、3月議会資料整理、千曲のかなた更新、堀内議員来所。
 - /18 会報FAX版配信、創価学会:第22回農漁業ルネッサンス体験主張大会に参列
 - /19 二会派学習会（副市長から説明を受ける）、特定行政書士：市農林課・農業委員会と依頼者との三者協議、湯っ蔵んど
 - /20 副市長、市民相談、H29シティプロモーション報告会、
 - /21 第1回臨時議会、議会運営委員会、全員協議会、本会議、予算決算特別委員会、本会議
 - /22 特定行政書士業務、商工会議所専務来所、議員間意見調整、議会事務局意見調整、湯っ蔵んど、会報配信
 - /23 インター周辺等開発特別委員会
 - /24 会報編集、3月議会資料整理、湯っ蔵んど
 - /25 会報編集、弔電打電、TV電話
 - /26 会派合同視察：浜松商工会議所、岡山商工会議所訪問
 - /27 会派合同視察：岡山市内視察、名古屋市内、松本市博物館、湯っ蔵んど
 - /28 市民病院、インター周辺等開発特別委員会招聘講師との昼食会
 - /29 特定行政書士業務協議（依頼人・建築士）
 - /30 千曲川河川事務所職員来所、特定行政書士業務（依頼人・市関係者と協議）湯っ蔵んど
 - /31 百々川河川敷現場検証立会、特定行政書士業務（水道関係工事と協議）、会報印刷・配布



発行日 平成 29 年 3 月 31 日

編集：発行人 須坂市議会議員 佐藤 壽三郎

<http://www.zyusaburo.com/> ホームページ

<http://zyusaburo.blog.fc2.com/> ブログ・千曲のかなた